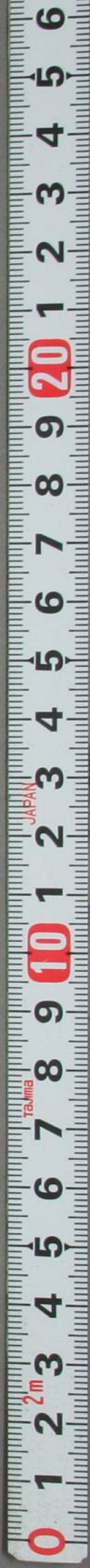




繪入
 武家重寶記
 五冊内
 三

ケ 5
 99
 3



綿 <small>わた</small> 割 <small>きり</small>	講 <small>こう</small> 義 <small>ぎ</small>	小 <small>こ</small> 簪 <small>かんざし</small>	相 <small>あひ</small> 引 <small>ひき</small>
射 <small>や</small> 向 <small>むかひ</small>	高 <small>たか</small> 細 <small>こ</small>	采 <small>さい</small> 幣 <small>はたけ</small> 付 <small>つけ</small> 環 <small>たまげ</small>	係 <small>けい</small> 下 <small>した</small> 環 <small>たまげ</small>
母 <small>はは</small> 羅 <small>ら</small> 付 <small>つけ</small> 環 <small>たまげ</small>	総 <small>そう</small> 角 <small>かく</small> 付 <small>つけ</small> 環 <small>たまげ</small>	押 <small>おし</small> 通 <small>とほ</small> 氣 <small>き</small>	眼 <small>まなこ</small> 楯 <small>たて</small>
蜘蛛 <small>くまじ</small> 女 <small>め</small>	草 <small>くさ</small> 摺 <small>すり</small>	札 <small>ふだ</small>	絨 <small>じゆ</small>
袖 <small>そで</small>	總 <small>そう</small> 角 <small>かく</small>	針 <small>はり</small>	弓 <small>ゆみ</small> 小 <small>こ</small> 女 <small>め</small>
脇 <small>わき</small> 當 <small>あた</small>	襦 <small>じゆ</small> 高 <small>たか</small>	佩 <small>ひ</small> 楯 <small>たて</small>	踏 <small>ふみ</small> 込 <small>こ</small>

四 具足志つけ方

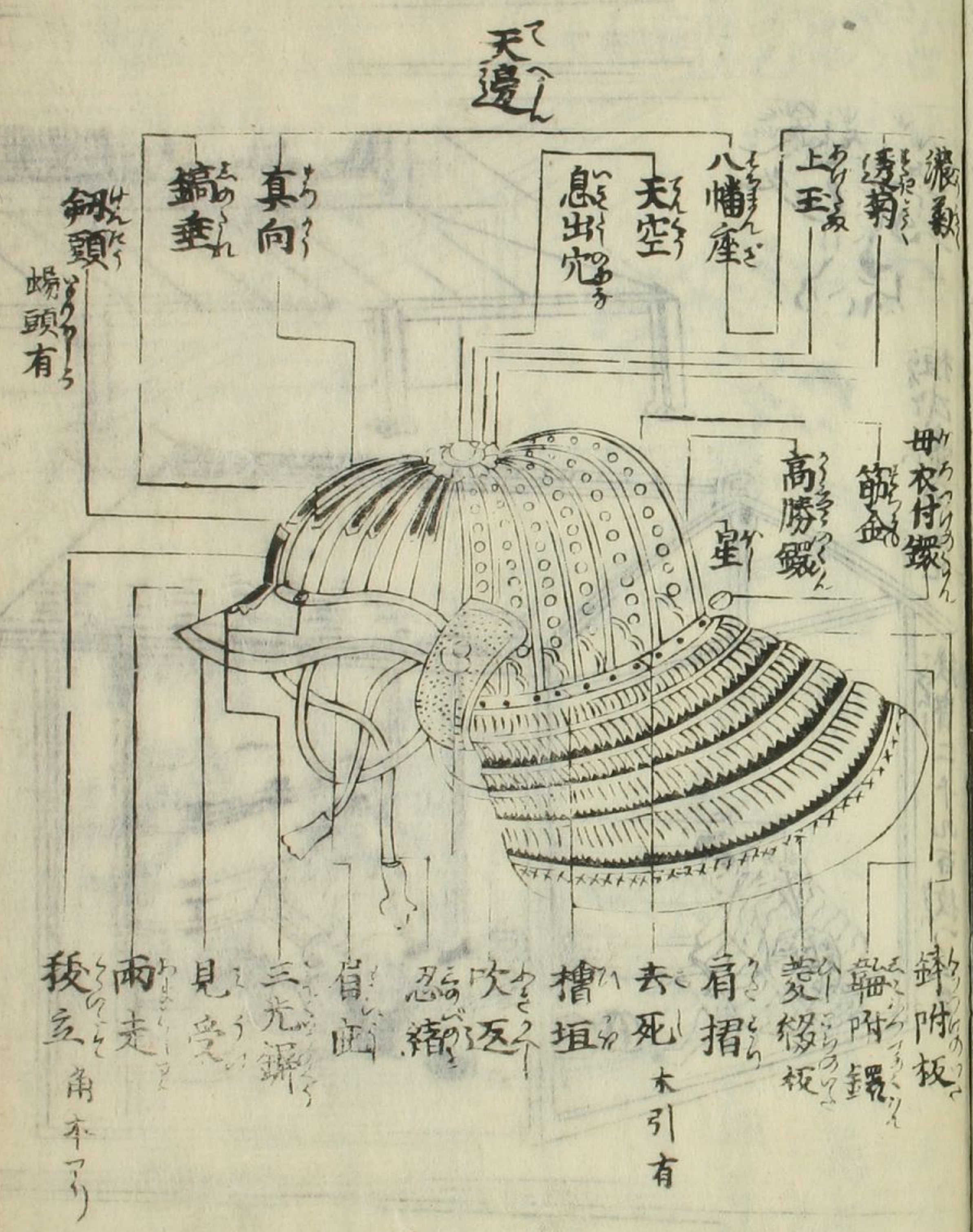
武家重寶記卷之三

一 甲冑のり付り方 圖

一 甲冑かうきゆうはよりいふとありあると日本にっぽん始はじめ儀ぎとありあり
 まりて甲かうとんて冑きゆうとより周まわ禮らいの疏すか子こ皮かわあり
 ぶと甲かうとらひ金かねにくつくふと鎧よろいとありあり甲かうの女め
 康かやうの子こ柄へらとふ人ひとはより始はじめありとあり又また虫むし丸まる革くわ
 と割わく甲かうとつくふと色いろ又また黄わう帝てい始はじめとあり又また女め甲かう冑きゆうと
 つくふと色いろより又また塊かた整ととと色いろ介けいと色いろ甲かう冑きゆうと
 一 冑きゆうと一いち枚まいと色いろ一いち刻こくと色いろ唱なうと
 一 冑きゆうの甲かうと子この深ふかい黒くろ平へいの袋ふくろ藤とうの蒔ま黄わう檜ひ橋はし

黃文とらるり此家乃久とらるり相生子授
 乃一四家一一家乃統領こまをりる
 一上古武士のふり軍とつらり此家乃軍乃具
 之如甲と制りりて各名とあり左近士才
 回出井これあり
 一神武帝日向乃美清ゆくり先く制りる
 一とらるり世に範はる鑑とふ
 一桓武帝大宰府よかせく鉄骨二千九百枚
 とつらるり高記とらるり

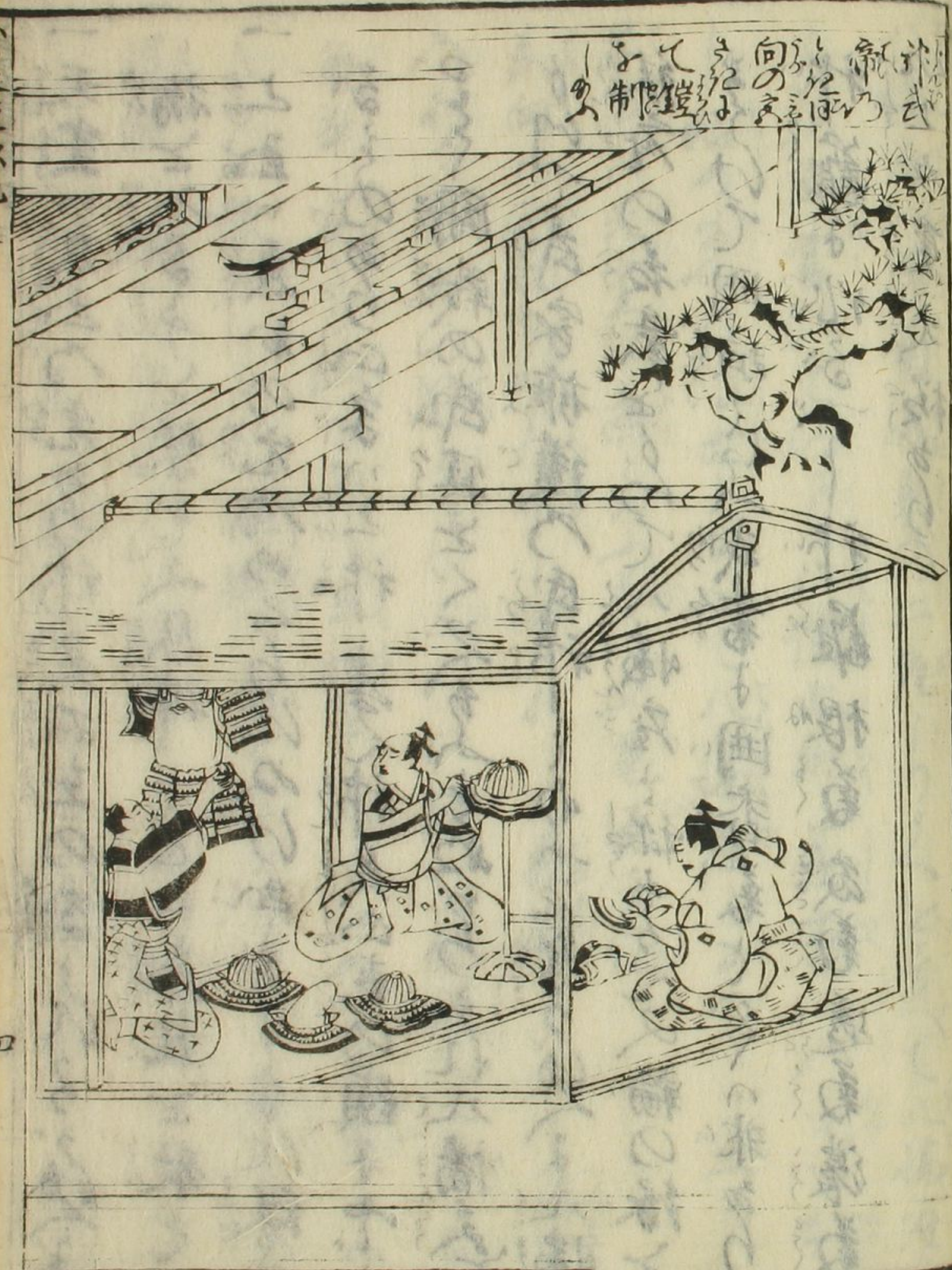
宵之圖 名所付



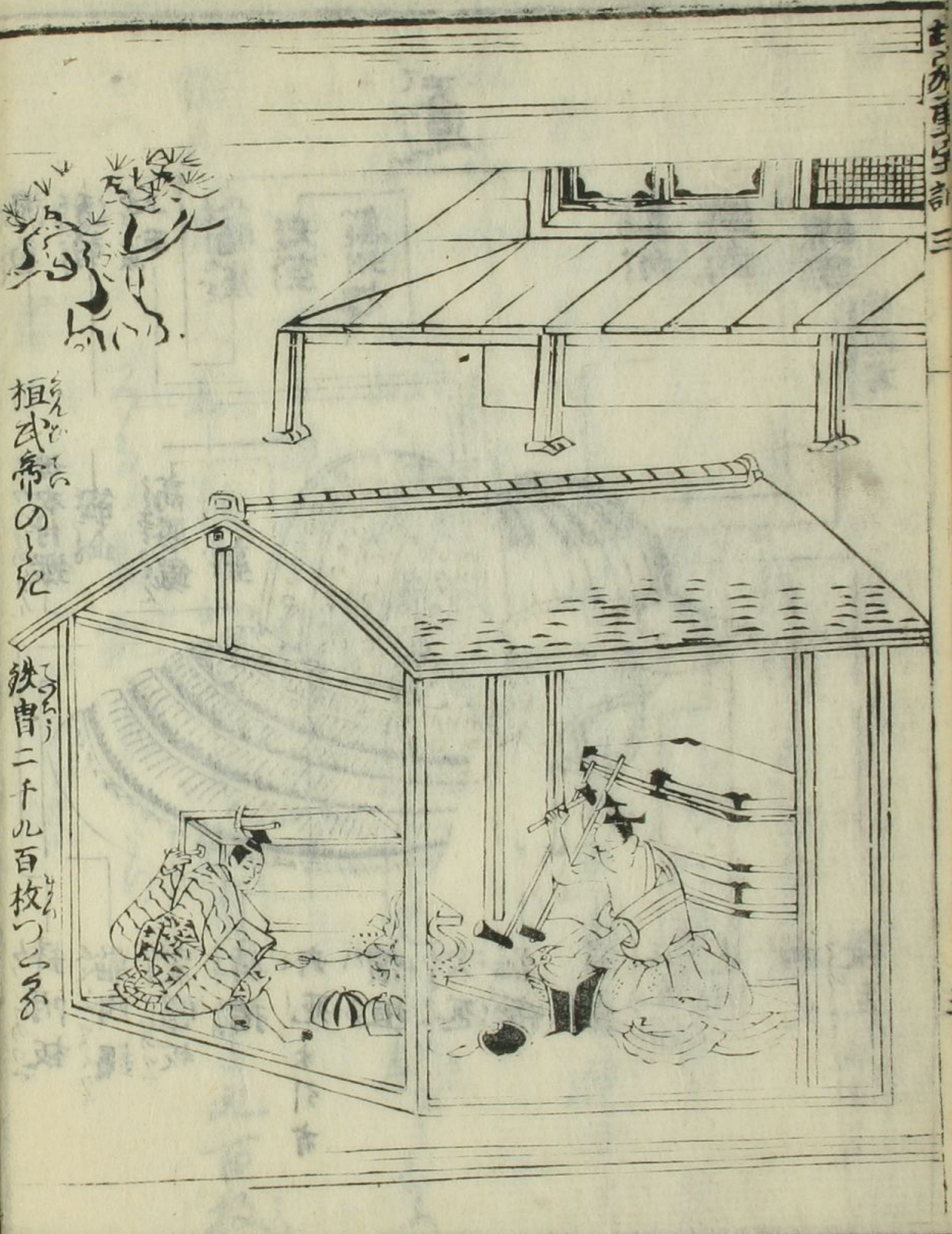
鐵頭

鐵頭有

後立



新式
 向ふ
 の
 鏡
 を
 用
 へ
 る
 事



桓
 帝
 の
 事

鐵
 曹
 二
 十
 九
 百
 枚
 の
 事

三
 十
 三

一天堂の息出乃元あり神具不立の姿と云ふるがゆゑ
 指を入ふるを禁む又息拂と云昇氣を教む
 一と云の息おの元乃のらにぬけおとすに後と
 なるものありふまの上神と云神具不立の額子や
 一と云闘戦の武具と云ふをぬらうれ八幡文と
 して武家擁護乃氏神と云ふたなるゆゑ八幡
 旗座の表意と云ふて八幡座と稱する又輪の縁を
 まうけて用垣といふ武書子用香義しくい非あり
 一神籬は比るべし神籬根着後着透氣濃義
 一以上五重大板あり

八幡座の濃義透氣の二座ありと云ふて八幡座
 と云武書にそのと八幡太郎義家この元を制
 一始の多り後世と云んで八幡座と云ふる
 一天堂の天堂は色と云ふ義又電返と云ふ
 一表向の正面あり表甲と云ふは表向といふも角本
 一乃わろ中央の筋と云ふ三門の筋を配設て三光と云
 一角本一定と云法も云一立物をとらうと云あり貫と云
 一と云を被立と云ふは猛獸の角と云ふと云ゆに角なりと云
 一肩痛の頑皮ありわろい眼痛とも云ふ類文と云ふ
 一と云んとのに表と云ふにゆゑも云又眼上のと云は

不と見え更らふ上敷と雨走と一む離とらうけて見

上しり又看上とと多し

一吹返の宵耳とと子鉾付の板は餘ありつ同吹返

へされらるこれ子家の紋と付くやうなうと吹返と

世ぬもわら又右は本と標つらふも五射女のしり

一鉾付の板の宵の鉾子付らふあり鉾と鉾付の鉾

しり又鉾付の鉾をとり鉾と鉾下は熱夜あり

一去死の宵の鉾をえぬら鉾付のえぬらうらとらふ

腰の字と字を去死とくは口借ありとせ

一四天の鉄は四和子わらゆあり指は多門度同場去ま

一威具とらうは承はくは口借ありとせ又鉾子ねきて

四川の元わり物末の元とを締ととらふ

一星ハ筋のわらとと大星小星抄出等あり大星とハ

産乃あるとら小産のありと小星とらふ又鉾をり門て

こらて鉾の頭をおらとらと打出とら小伴賀鉾の

星ハ鉾子去死とのありとらと粟は毛の麩ととこ

らくく利とくはオとまりあり

一筋ハ去死とらと大瓶ハ六十二間とら又別子

高しう筋を篠高とら銀とらと二方四方八方へ

はらりとらと二方白四方白八方白とらとらわらふ

金の箔青と八方白と守銀の箔青と四方白と
傳もあり今去るはしるはありあり

一 富勝の鑑は上照と色赤く甲如字と赤いあり

一 鐙のうしろはありこれ小総角とひそふゆは高徳

の鑑と色赤いありは芝平如鑑といふもはしあり

一 鞆の銅と色銀と色赤くわろ書子頰項又の赤巾は

くしとりの分鞆頭鞆日根野ありは形赤あり糸

いおくとらとを益懸といふ繁と毛列といふ毛とい

糸のうしろは甲如毛のうしろありこれとらて糸

毛の甲をくし甲青といふ糸ありと月毛の青もや

といふ又何枚青といふは銅の板如教ありといふは

鐙付の板の教はくわりのありは二鞆青又鞆青

をせといふは古來枚の字といふはぞといふは人の去

板といふは一枚といふは世といふは分鞆銅は二行四外小

とけといふは割の字にわらうゆは子鐙と禁と下

教鞆といふはわらう

一 四青いありは裏懸と色赤く上と浮法と色赤

張といふは本綿麻布といふは近來日といふはあり

けとこくふといふは金箔ありは張らあり力草

とて十文字と入らあり或人の云青の裏法鑑は

浮張ととくく辞ととくく又浮張ととくく
 一糸結ハ月鑑あり締あり三付あり四付あり締ハ曝
 とりらち或書ハ四付ハ長七尺九寸とより一付
 ハ七尺二寸ありひとび極口傳あり又三保屋結とら
 わり利用ありとそ敷ハ調と用ゆらハはひのま
 一鉢ハその形おとくして鑄てかましく一平にも
 頭成化成椎成のころんと上代ハ形と守近世往々に
 出来ら形とくく色あるは子いとぬあうぞろがゆ
 今大槩とわけと圖あり守子とたれと
 骨之鉢の号

 <p>大燄</p>	 <p>囊頭</p>	 <p>鳥形帽子</p>	 <p>成り作</p>
 <p>半前</p>	 <p>山形</p>	 <p>同</p>	 <p>成り頭</p>
 <p>鬚</p>	 <p>貝形</p>	 <p>同</p>	 <p>成り掛</p>
 <p>老野</p>	 <p>劔成</p>	 <p>同</p>	 <p>椎成</p>



兒頭



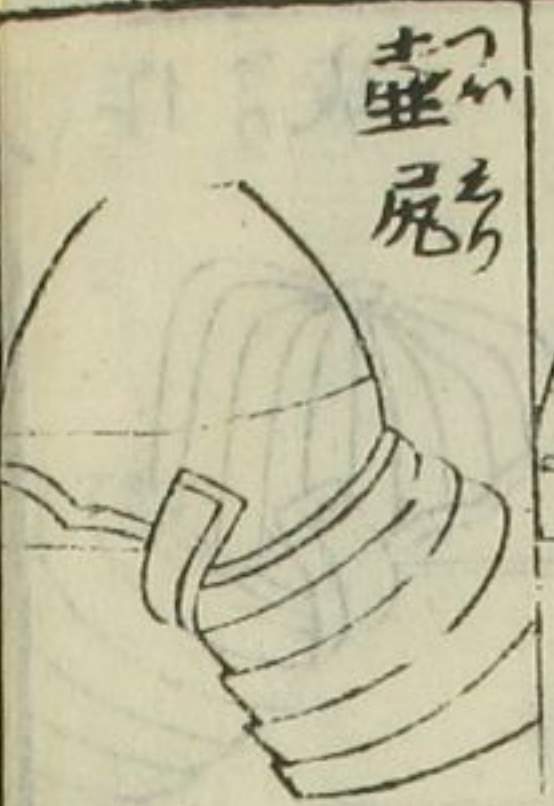
九折



兜登



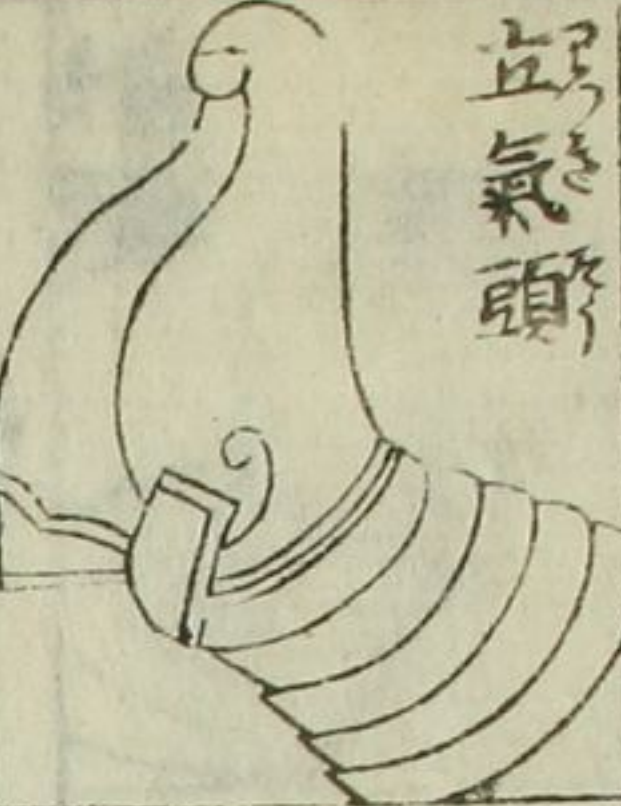
鱈魚



壺尻



内



立氣頭



老頭



黒頭



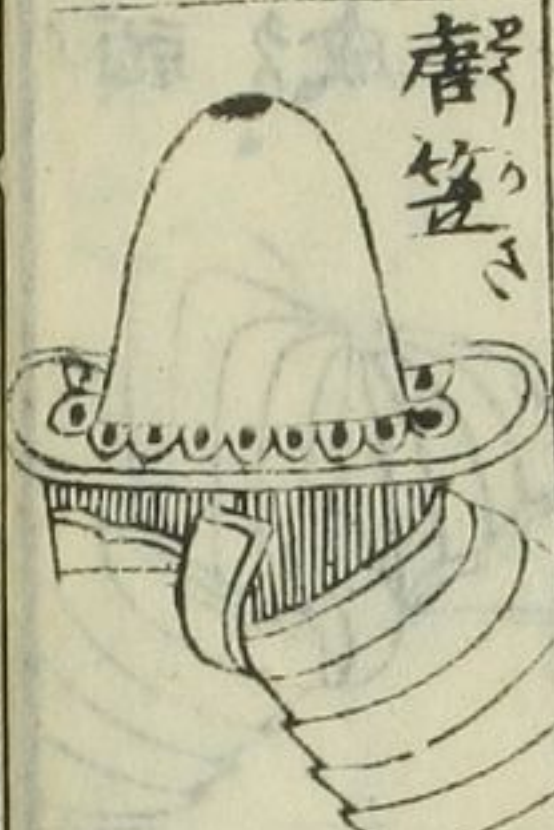
年縫成



曲頭蓋



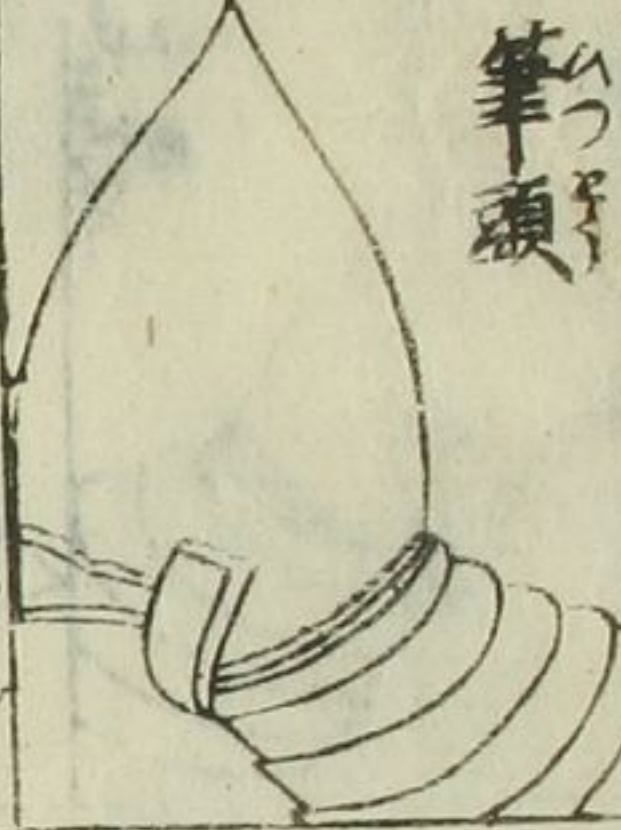
龍頭



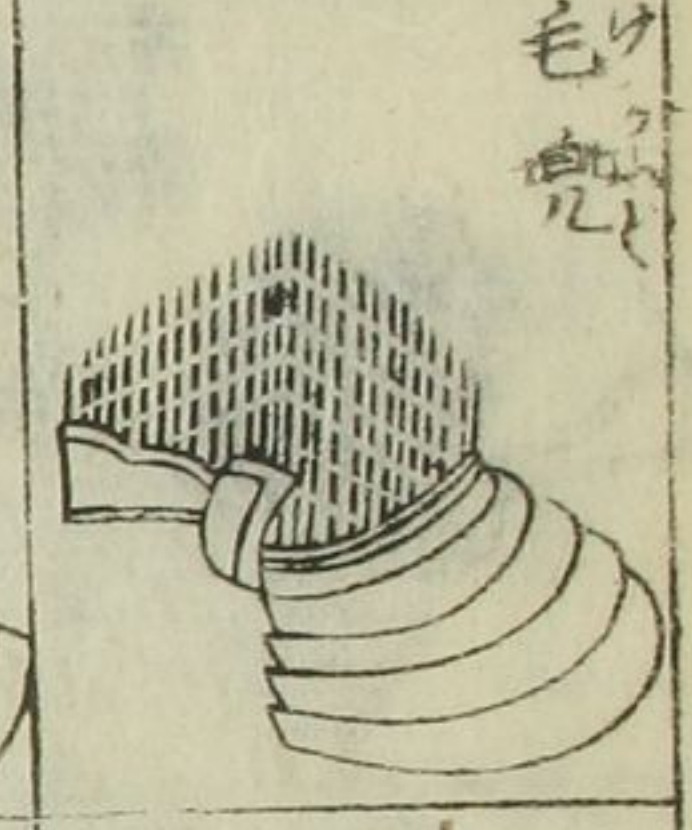
唐笠



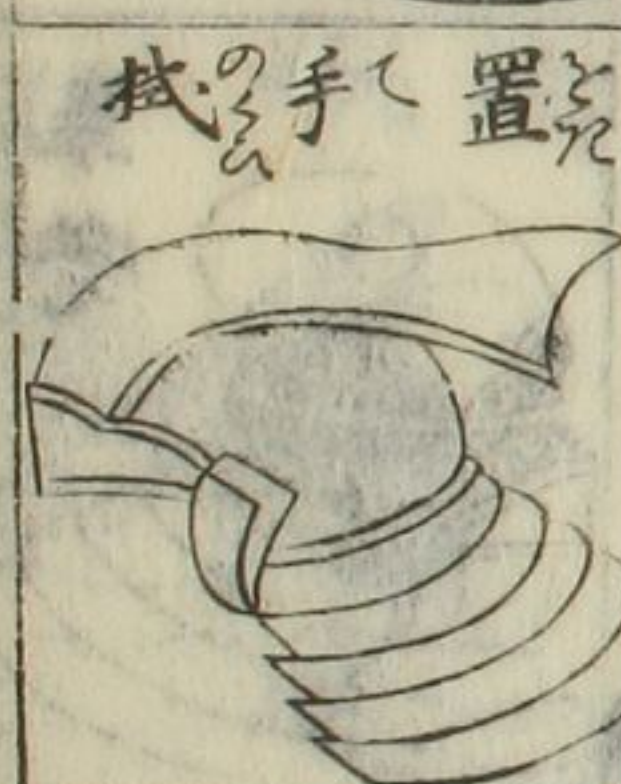
龍尾



筆頭



毛氈



杖の手に置



蛤の蚌



一の谷



龍の尾



唐冠



頭抹



瓜形



雲針



大耳



蛤の文



立雲



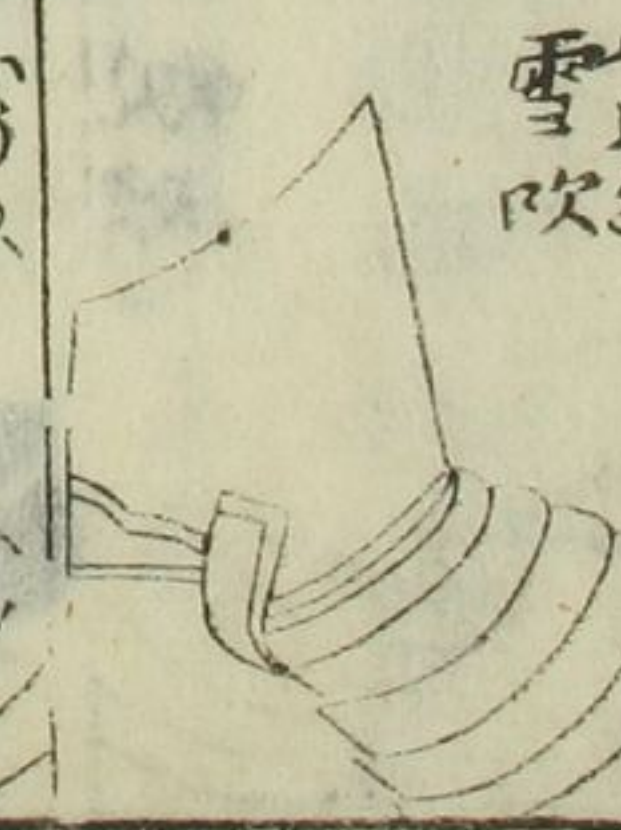
鴨の口



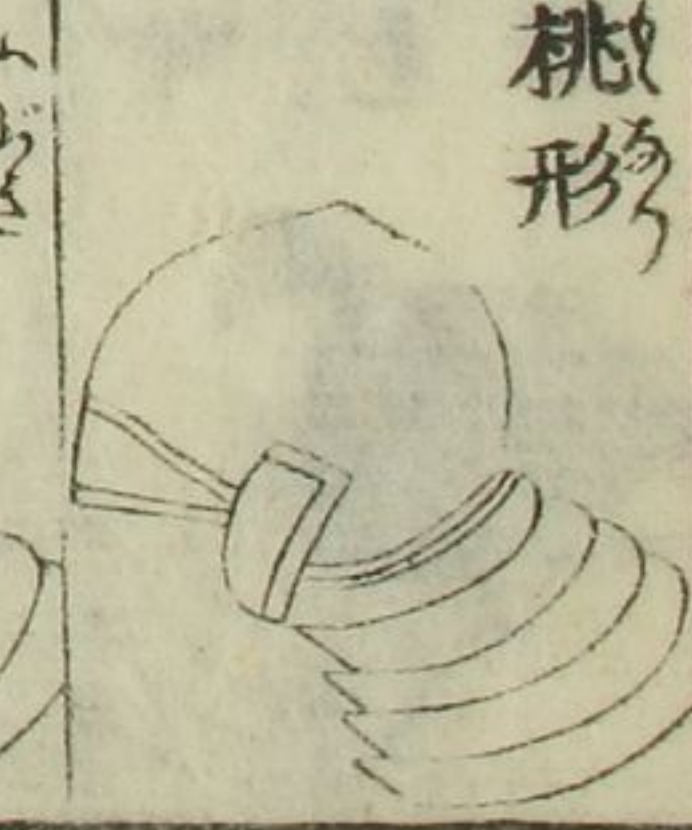
魚頭



筆尻



雪吹



桃形

<p>鈴頭<small>スズカビ</small></p>	<p>梨<small>リ</small>折<small>オリ</small></p>	<p>三<small>サン</small>拍<small>ハク</small></p>	<p>成<small>ナリ</small>鞭<small>ヒ</small></p>	<p>螺<small>カタ</small>糸<small>イト</small></p>	<p>鉢<small>ハチ</small>雜<small>雑</small>賀<small>賀</small></p>	<p>平<small>ヘイ</small>直<small>チカ</small></p>	<p>握<small>ニグ</small>拳<small>ケン</small></p>
<p>尾<small>ビ</small>老<small>ラウ</small>海<small>カイ</small></p>	<p>陰<small>イン</small>尾<small>ビ</small></p>	<p>筆<small>ヒツ</small>像<small>ゾウ</small></p>	<p>頭<small>カビ</small>玉<small>タマ</small>十<small>ジュウ</small></p>	<p>牛<small>ウシ</small>帽<small>バウ</small></p>	<p>芥<small>カイ</small>子<small>コ</small>壳<small>カク</small></p>	<p>食<small>シキ</small>唱<small>シヤウ</small></p>	<p>頭<small>カビ</small>羽<small>ウ</small></p>
<p>蜂<small>ハチ</small>蜂<small>ハチ</small></p>	<p>左<small>サ</small>急<small>キウ</small></p>	<p>宝<small>ホウ</small>珠<small>ジュ</small>成<small>セイ</small></p>	<p>富<small>フ</small>士<small>シ</small>形<small>ケイ</small></p>	<p>尾<small>ビ</small>燕<small>エン</small></p>	<p>巾<small>キン</small>頭<small>カビ</small>擲<small>チク</small></p>	<p>輪<small>リン</small>唐<small>カウ</small></p>	<p>鳥<small>トリ</small>兜<small>カブト</small></p>
<p>紙<small>カミ</small>折<small>オリ</small></p>	<p>玉<small>タマ</small>臺<small>ダイ</small></p>	<p>尾<small>ビ</small>雞<small>ケイ</small></p>	<p>將<small>シヤウ</small>米<small>メイ</small>酸<small>サン</small></p>	<p>出<small>デ</small>口<small>カウ</small>口<small>カウ</small></p>	<p>カ<small>カ</small>士<small>シ</small>頭<small>カウ</small></p>	<p>尻<small>シラ</small>鍋<small>カウ</small></p>	<p>形<small>ケイ</small>鬼<small>キ</small></p>

武家重宝言三



鳴渡



多翼



巻縮



廻



松縮



結



二玉頭



胡桃



角



青



傘



角



蝶



蛇



波



角頭



水



章魚



茄子



椰子



瓢箪



篠





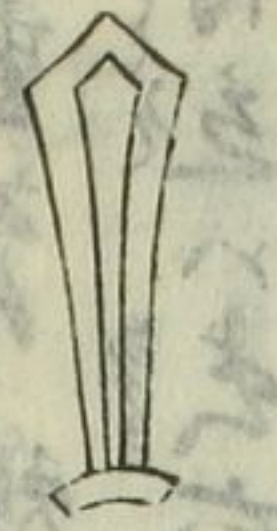
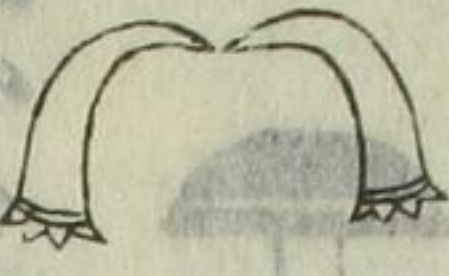

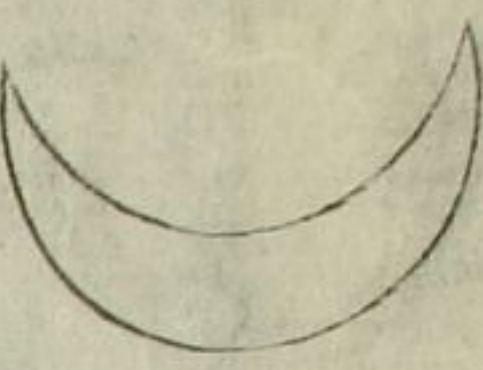


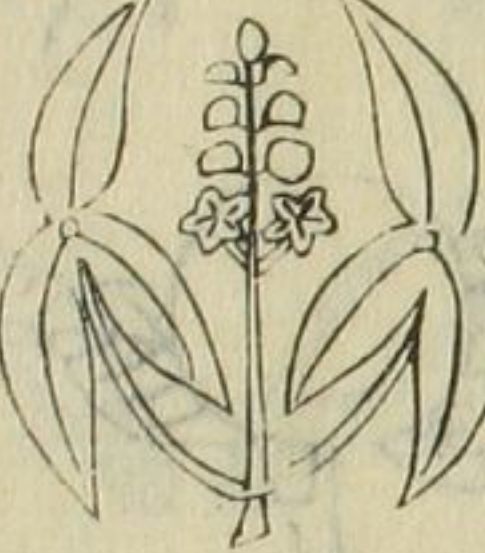

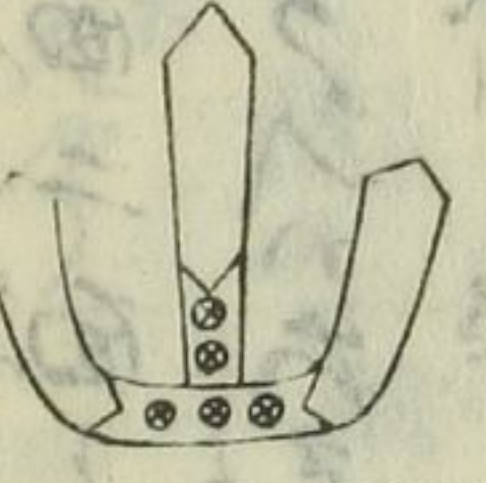

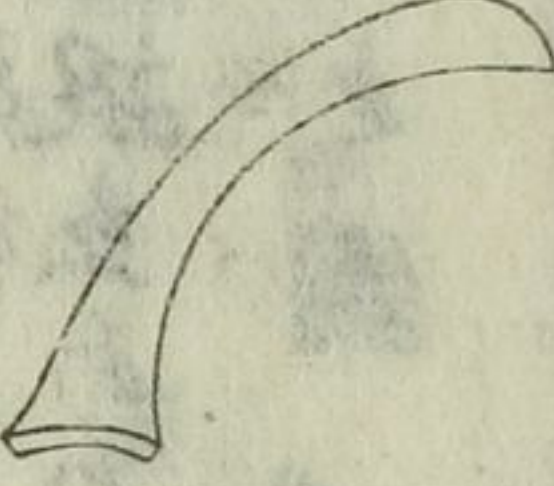
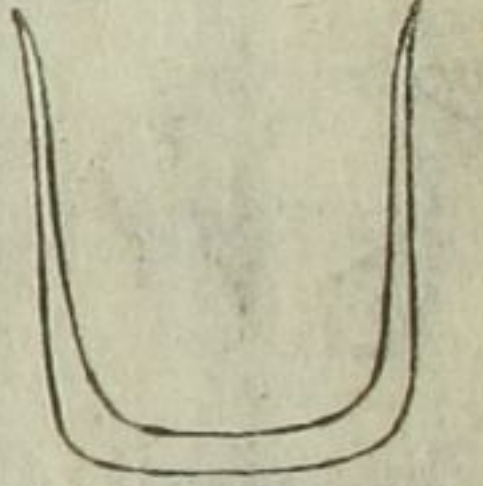
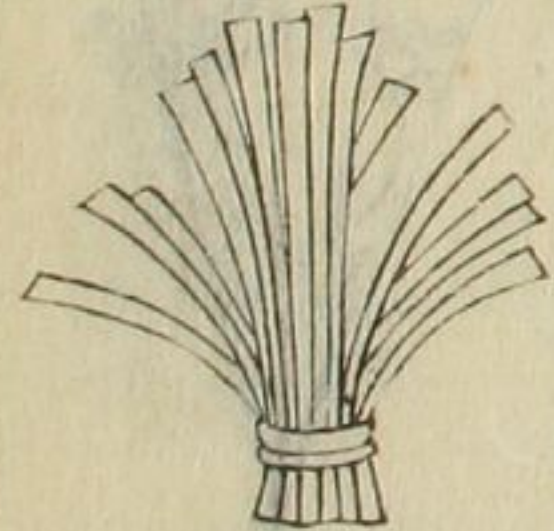
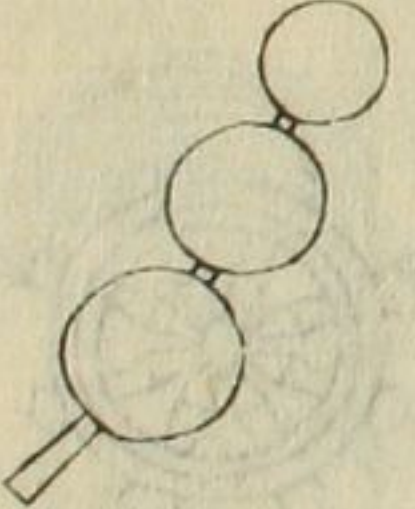



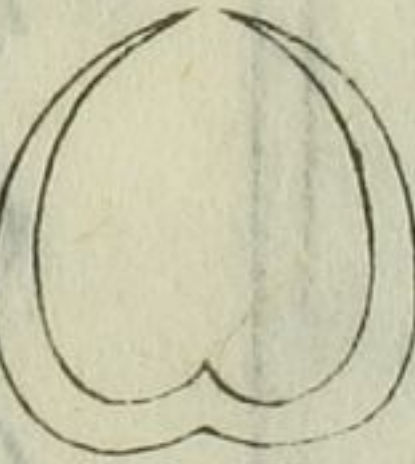


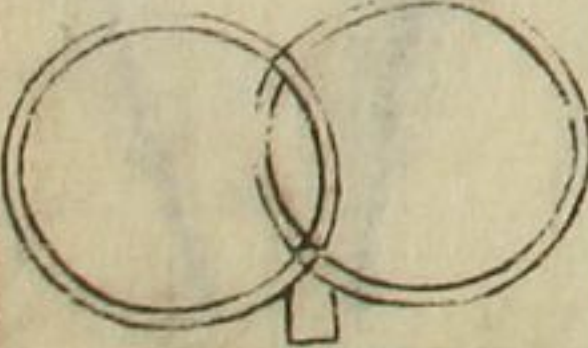

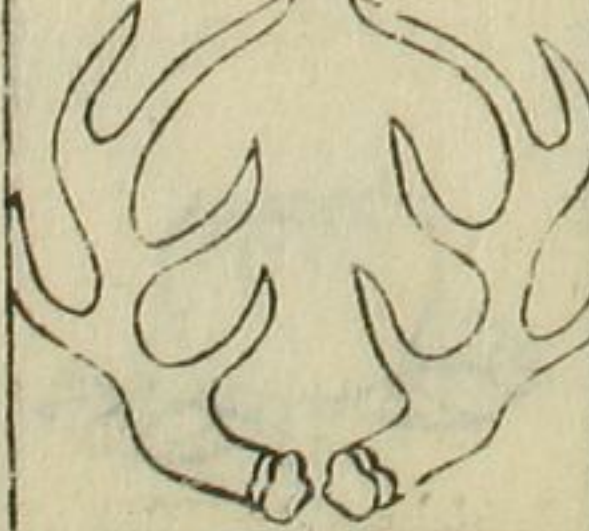
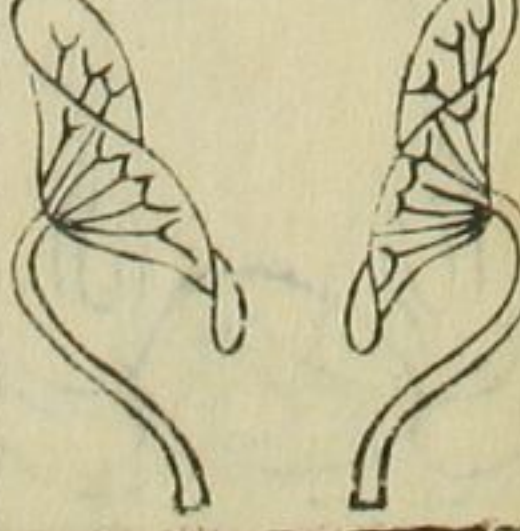


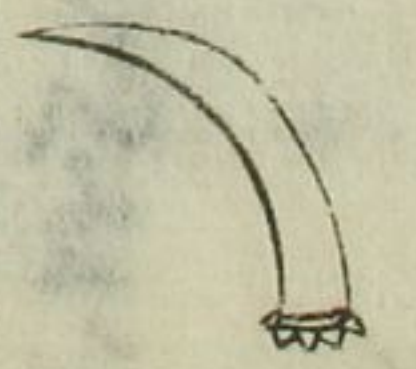
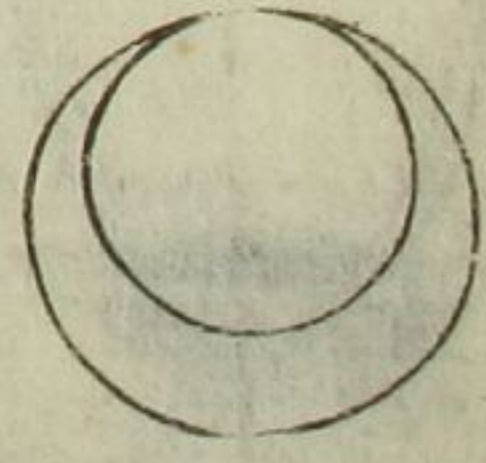


編

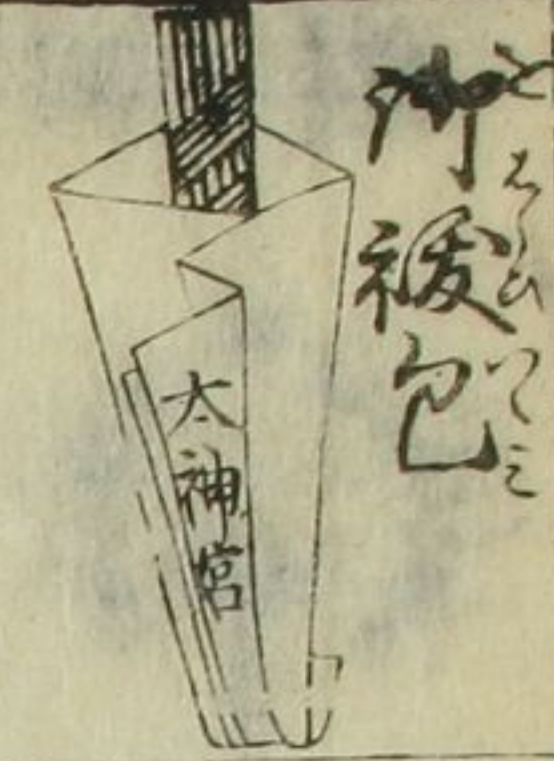


木

一類當の鼻のわろと面頬と鼻の尻と後頬と面頬と
 を思髪赤髪白髪書髪等とゆるい鼻のけとじ
 につくふ歯の銀と多し又いさゝて願とら
 小わけうと紙平頬當とふ又の燕ありとふもわり
 頬子雛のこく箱と付とるをま矢摺とふ銀笛を

<p>圓^丸羽^羽</p> 	<p>粘^ね = 猪^豚</p> 	<p>織^織 蕨^蕨</p> 	<p>系^系 板^板</p> 	<p>角^角 利^利</p> 	<p>懸^懸 向^向</p> 	<p>角^角 輪^輪</p> 	<p>月^月 輪^輪</p> 
<p>圓^圓 唐^唐</p> 	<p>粘^ね = 三^三</p> 	<p>湧^湧 澤^澤</p> 	<p>系^系 板^板</p> 	<p>形^形 山^山</p> 	<p>角^角 犀^犀</p> 	<p>纏^纏 組^組</p> 	<p>澗^澗 天^天</p> 
<p>斗^斗 雙^雙 把^把</p> 	<p>子^子 圓^圓 三^三</p> 	<p>幕^幕 羽^羽</p> 	<p>板^板 三^三</p> 	<p>角^角 結^結</p> 	<p>月^月 精^精</p> 	<p>角^角 鹿^鹿</p> 	<p>輪^輪 月^月</p> 
<p>透^透 輪^輪</p> 	<p>尾^尾 鯨^鯨</p> 	<p>角^角 鹿^鹿</p> 	<p>蓮^蓮 卷^卷</p> 	<p>海^海 老^老</p> 	<p>覆^覆 蕨^蕨</p> 	<p>懸^懸 前^前</p> 	<p>輪^輪 月^月</p> 

武家重宝記三



神被包

焰火



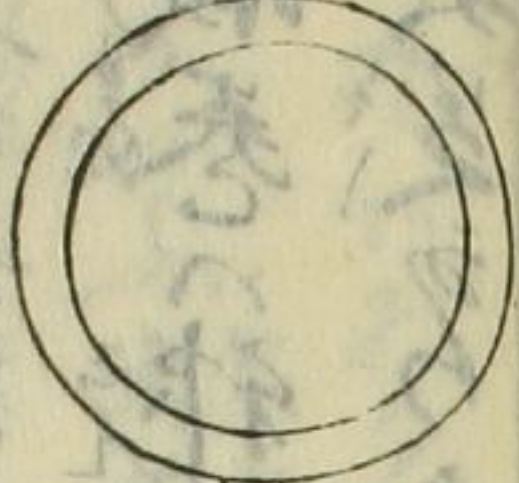
南



尾雉



輪



落



釘



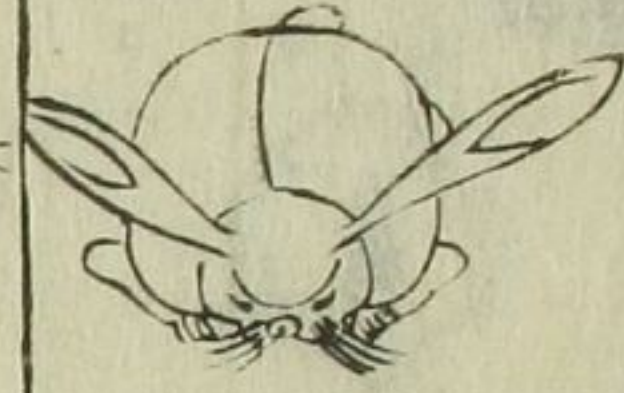
鼓



蟹



向



橙



物



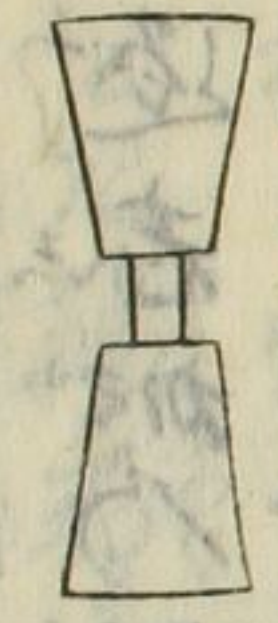
息



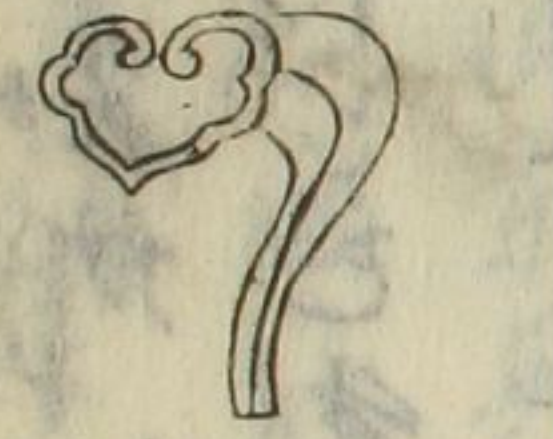
耳



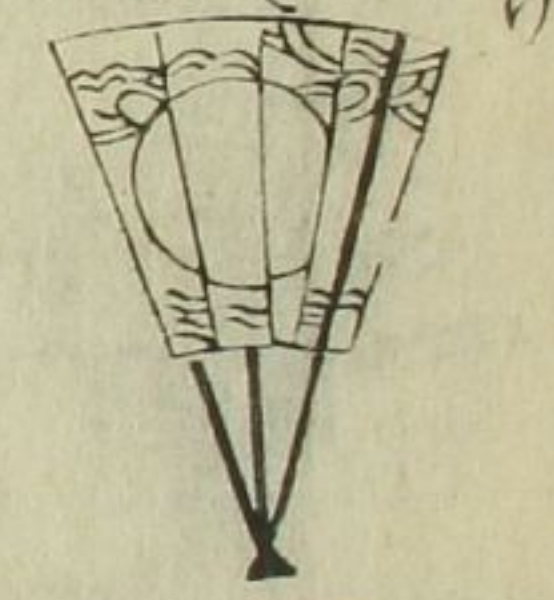
細腰



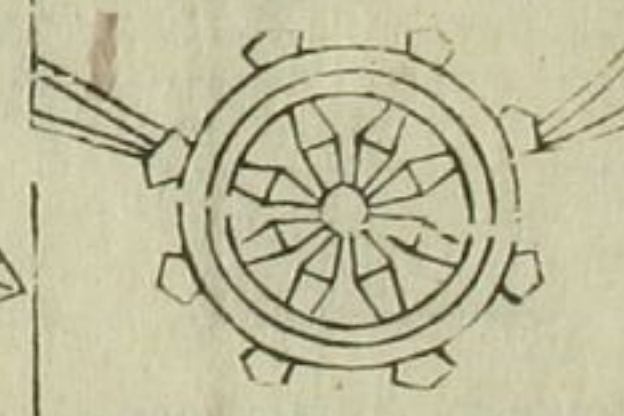
雲



扇



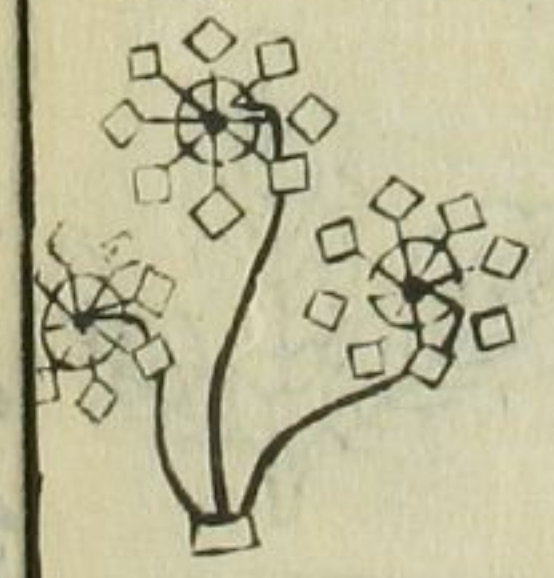
宝輪



桃



車



笙



額



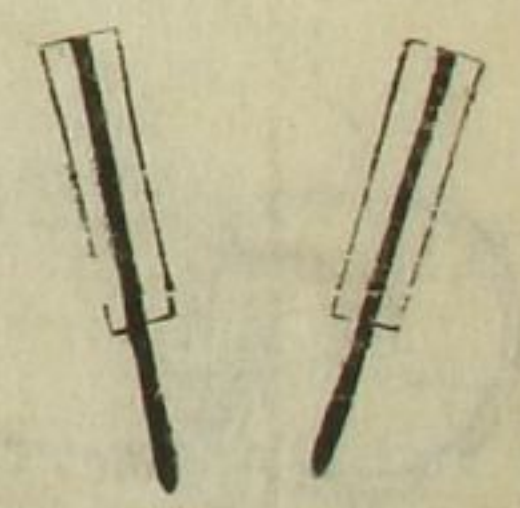
子拂



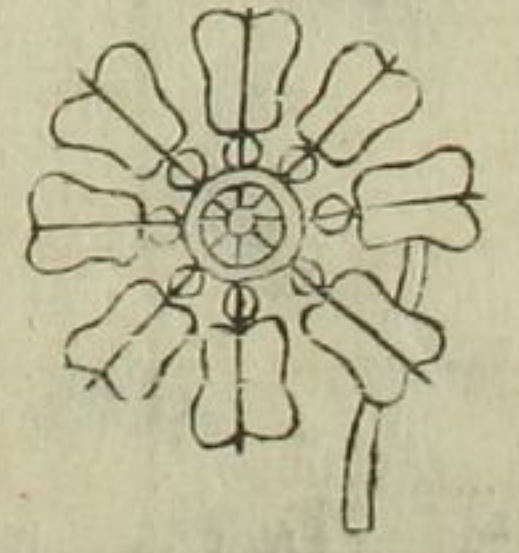
菊



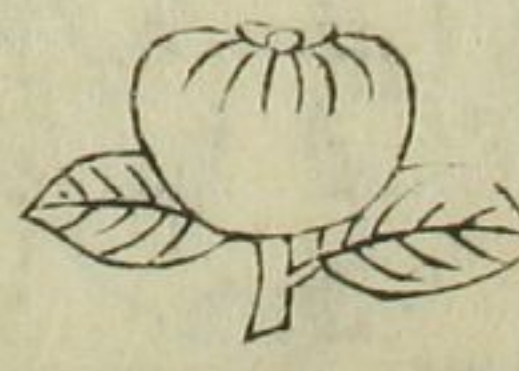
扇



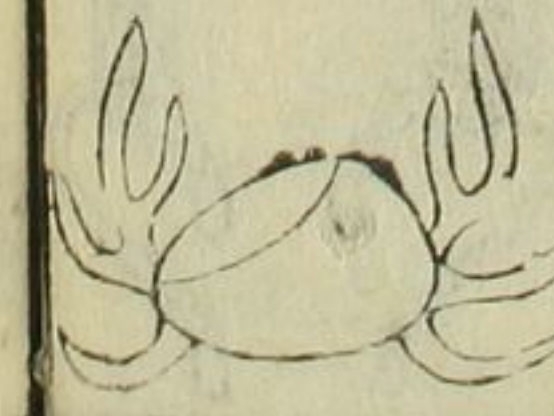
車



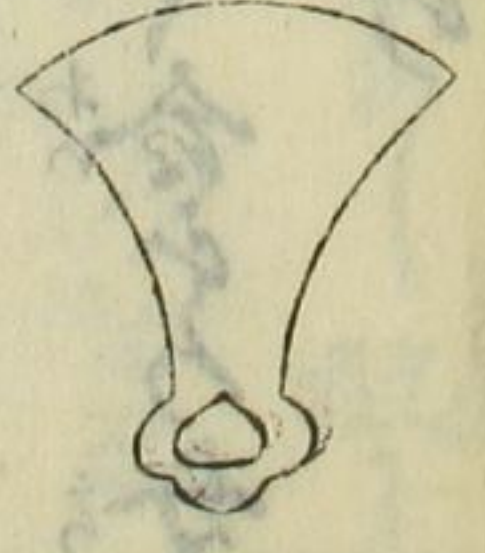
柿



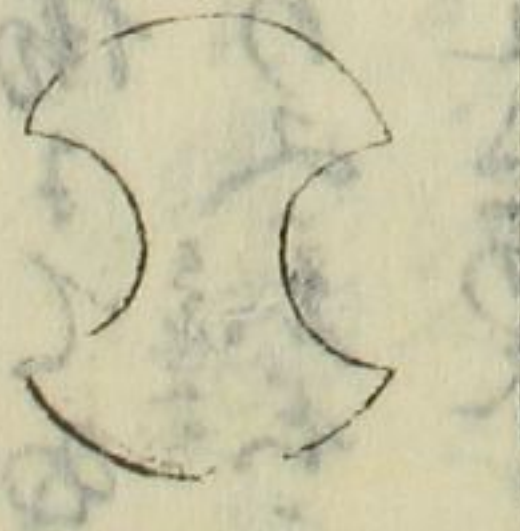
蛤



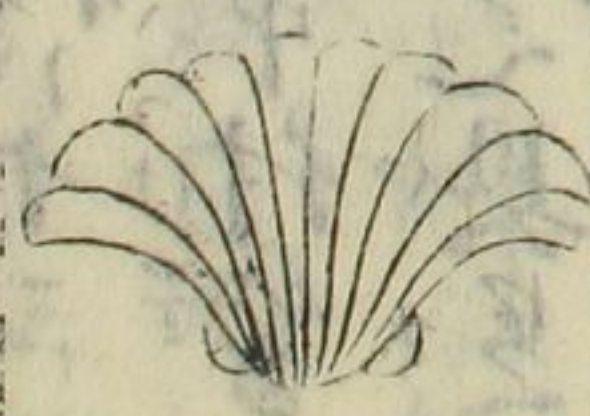
扇



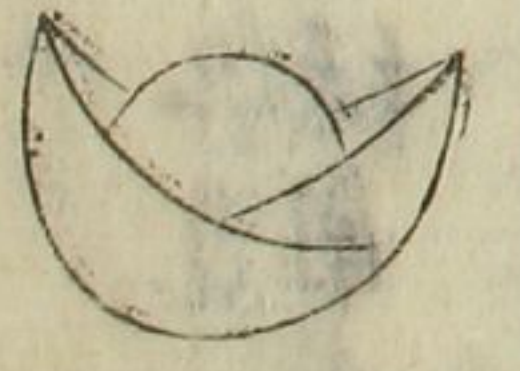
扇



蛤



梨

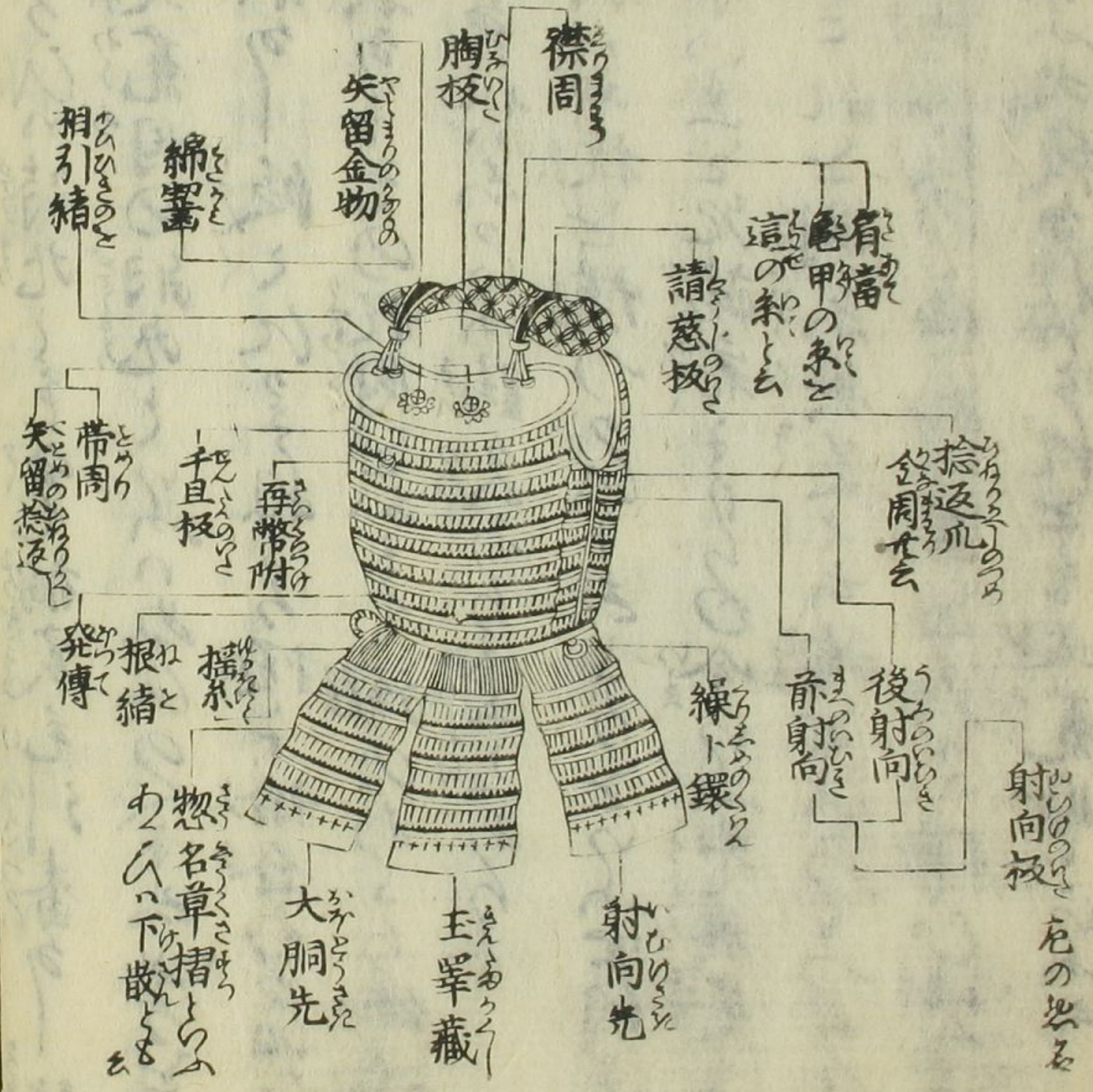


三 鎧の名所とあるもの

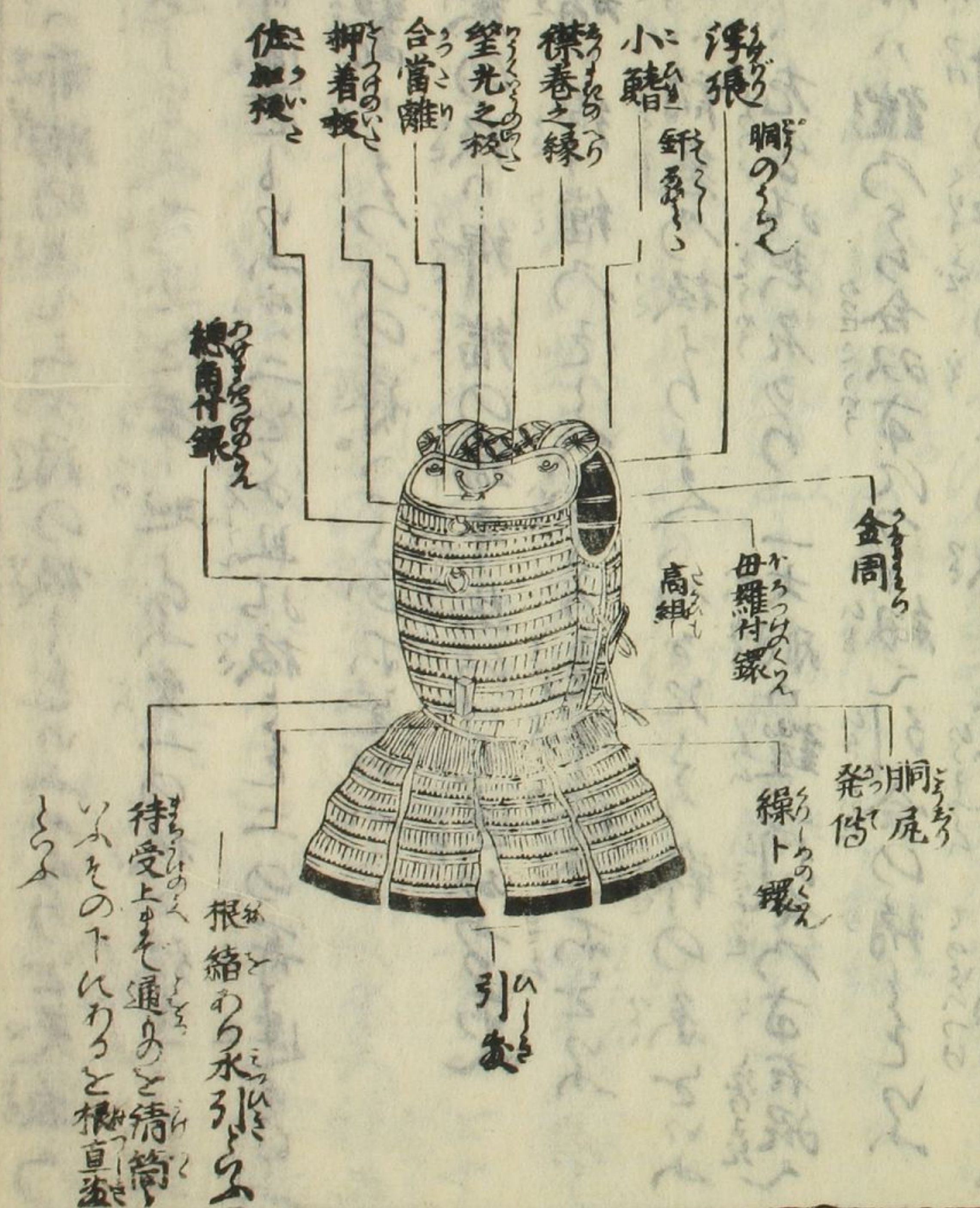
一 鎧ハ介丞 鎧甲と色朱一 奉式此鎧ハ総角五
 寸半の信ハみざりにこれと云ふと付金物ハ十三不
 上産上巻矢逆志加乃 銀水香丸 銀再幣付等こ
 とくをそねりねりめりて人子具足といひつゝ之具足と
 子多佛經子出てそねり山門の台院 戦場子て西
 子あまとも一しより具足と云ふ名も下田より又美長と
 云ふ具足の惣名あま大福の御所あといひんこめこ
 一 腰巻ハ神切皇后より下田よりうらやめ合と分
 具足あり肩と腰とん引ありせね緒あり

一 胴丸ハわろひの筒丸と云ふ之を極実毛引番あり 故子
 云くろ大荒目の胴丸といひぬ人の子云くろと云
 一 桶皮ハ糸アリ 後とにくさぬと極子 恰合ありぬ人
 一 佛肌ハ糸アリ その形肉をかきし 海のわろり佛像を
 名つとくこれハふのし 鍔あり 塗上あり
 一 四枚金肌ハ四枚と蝶つらみと云くろとつゝは
 一 一七物子いまを丸 袴着より今いふも具足と
 一 一 軍列成ハこれと 関東具足と云 胸とひらくつら
 一 一 草包ハ胴丸之紋のこぬりおろ草と云くろはひゆ人子 故
 一 一 草包と云くろ大故ありこれをも大荒目といふ

前



後



一 胸板の前胸の上へ三ヶ所の板を子あつらりと矢張り
 振返り又矢返を帯廻り子あつ一の板を弦走とも一
 の寄連とも子あつ二と子且板とも二の寄連を子あ
 一 綁繋のしるひの角へくふおをり

一 清意の板の綁繋の端平生行て連あつあ

一 小緒の綁繋のそとへ出り電半縫のあをり

一 相引の清意の板よりまへつたより靴の糸をり

一 射向の老字の惣名あり 一 大羽の鏝の引合の緒とも

一 多紐の鏝のうら合双すにへ紐の引合の緒とも

一 未幣付の鏝右の各一の板より平士の板付とも

一 線トの鏝の右の上の下のへくふ又老れすの下の方へ

一通りあふ締の緒ハ線トの半緒とも又ハ根緒とも

一 母羅付の鏝の総角付の上よりよけ板を依加板とも

一 総角付の鏝の表裏ありに傳ありと

一 押通気いりの物名いりの上より際を智光の板とも

一 子あつ一を依加板とも子あつ二と子あつ三の板とも子あつ十

一 子あつ板とも子あつ四と護別の板とも子あつ六神邊

一 の板とも七後の板とも八発信の板とも

一 際とも子あつ傳のあはりあり下はつと

一 服柄の板とも老右の番をかきあり上代の式表給り

一珠の今指物全とらふ合當雜とも云下は之と法符云
 一草摺の下教とらふ今世下は際と草摺と上より一二
 三四と草摺とらふ前と玉翠並とらふ後の一は草摺
 後とらふ又枚さより六七八枚さより八間或は十一二間の物を
 一札の甲葉之を賣ととやん揺札一枚札之

圖	之の札
頭	子丁
札	小分
頭	魚
頭	麻雨
頭	管矢
札	小花
道	山連
道	山離
頭	石春
割	篠
流	波

緘

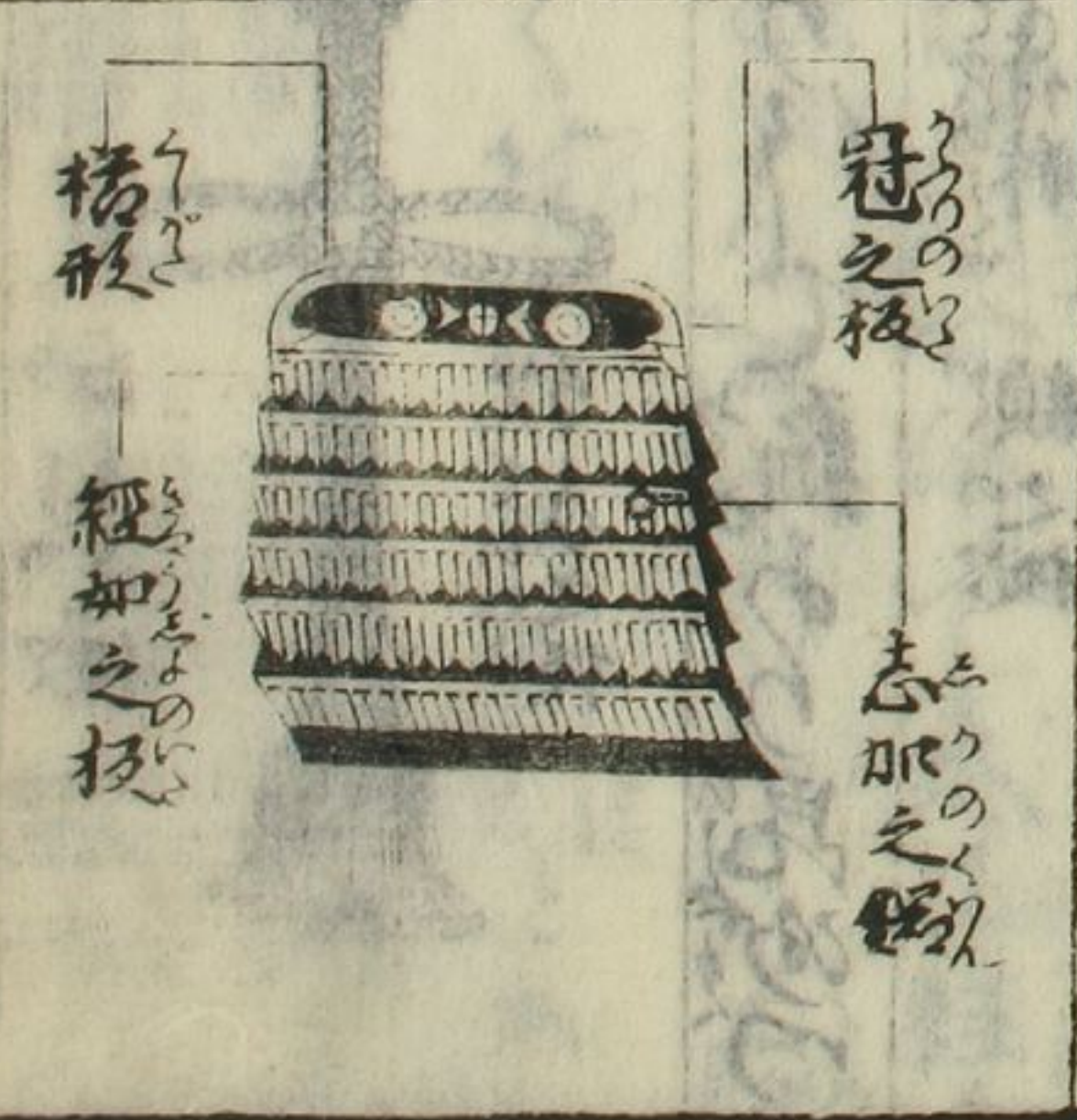
或は鉋頭
或は岩丸

或は及小札
或は片小札

一緘の甲葉の註米之華性之綴ととやん緘の名を

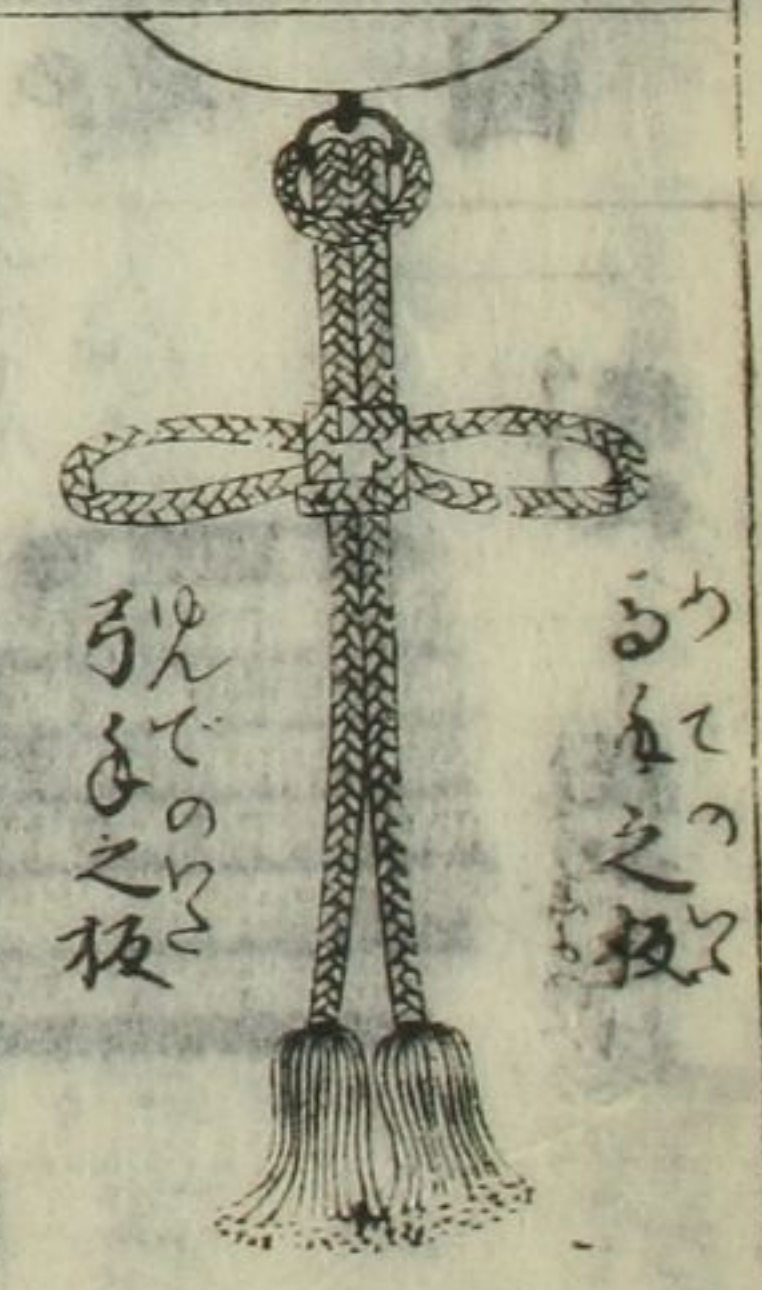
威小標威卯花威の吹威白檀威夜威漆文威啄木威
 鰐威唐錦威花草威黒草威黒系威洗草威恒威
 漆草威不草威白威符取威柑子草威節繩同澤
 滔威蒟黃威紫裳紅この外は威あり
 一袖の大袖中袖小袖あり一の上と冠の枚とらふ次に經如
 の枚とらふ次に一枚二の枚三の枚
 一枚の枚をくさす乃とつきの際
 と裏縫の枚とらふ上は金物と枚
 藥れ金物とらふ大袖と付る綿
 の金物と類とらふ

袖之の圖



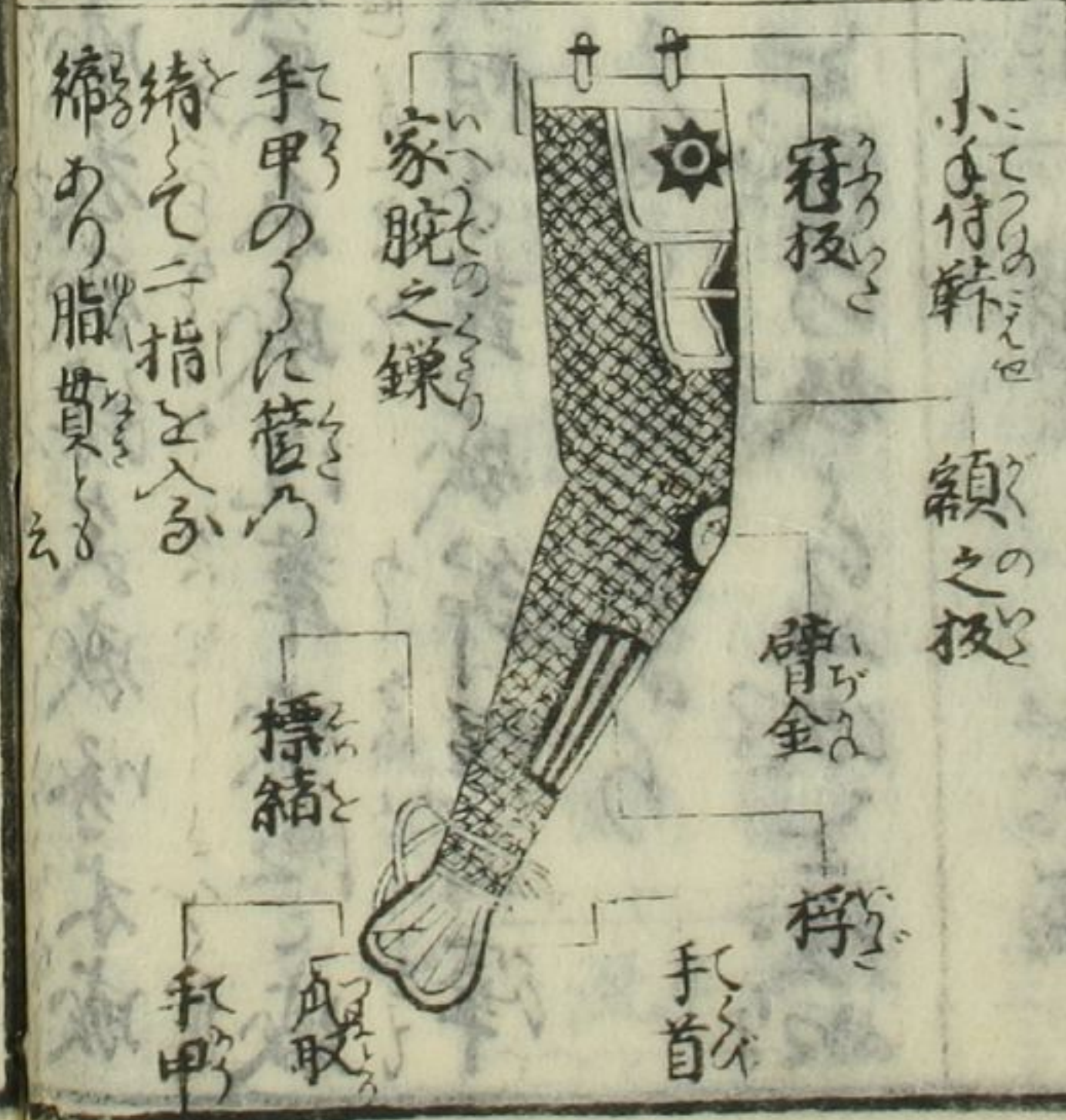
一総角と武系十圓ふゆいのその
形十子姑と一紋武系の装
と色り緒の紅をりりめ

角 総



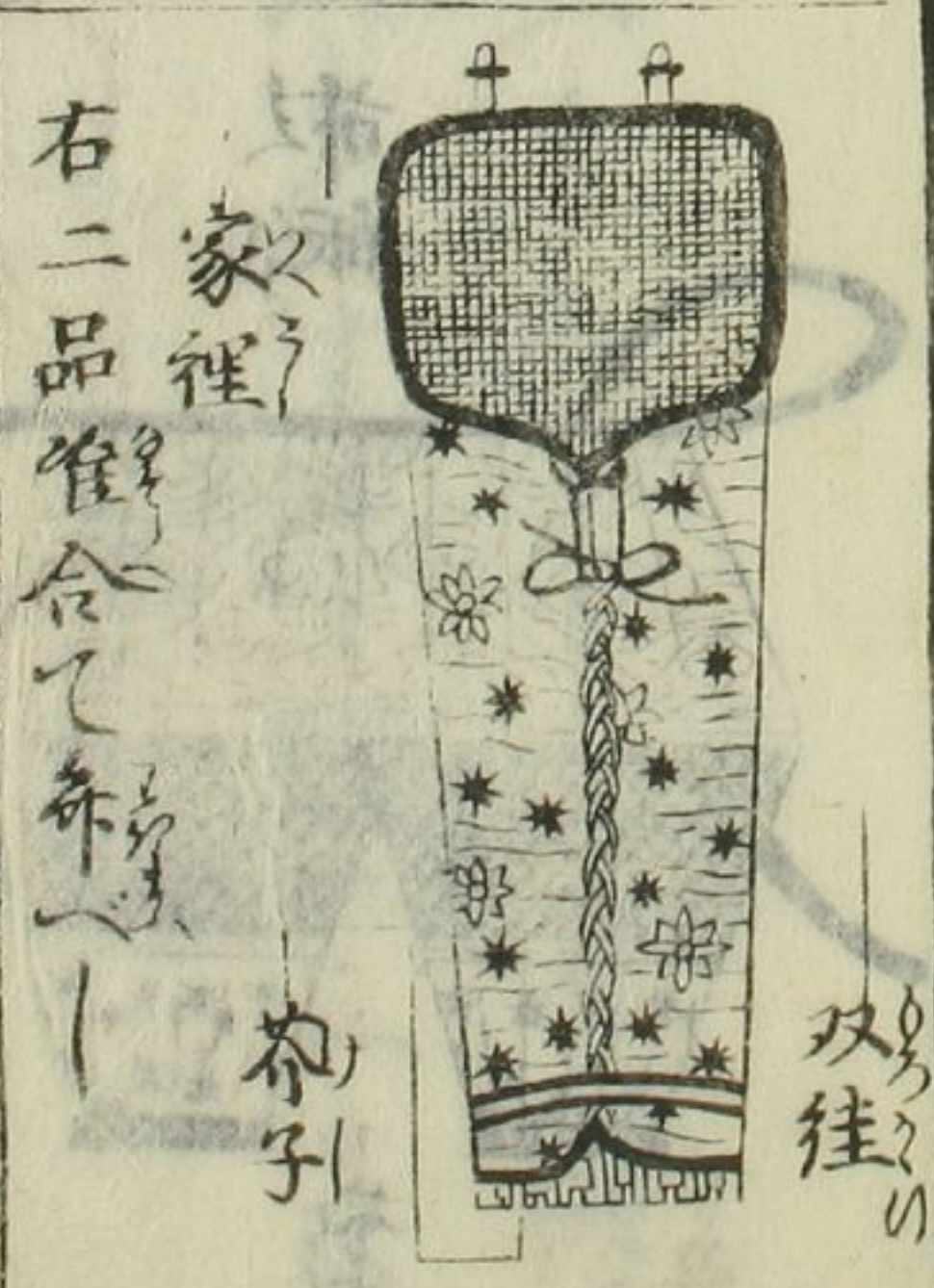
一針の小田菴より小袖と付を敷くよりけりて靴あり昆ゆつ

針 之 圖



小女の小袖と仕付けして並あり
ゆの銀の金物と額の板よりふと
つまの板と冠の板と云二は緒
と野の結丸ゆの付の結丸のふ
ゆの八和と家裏より靴付
よりと下結といふ大柄ゆくと

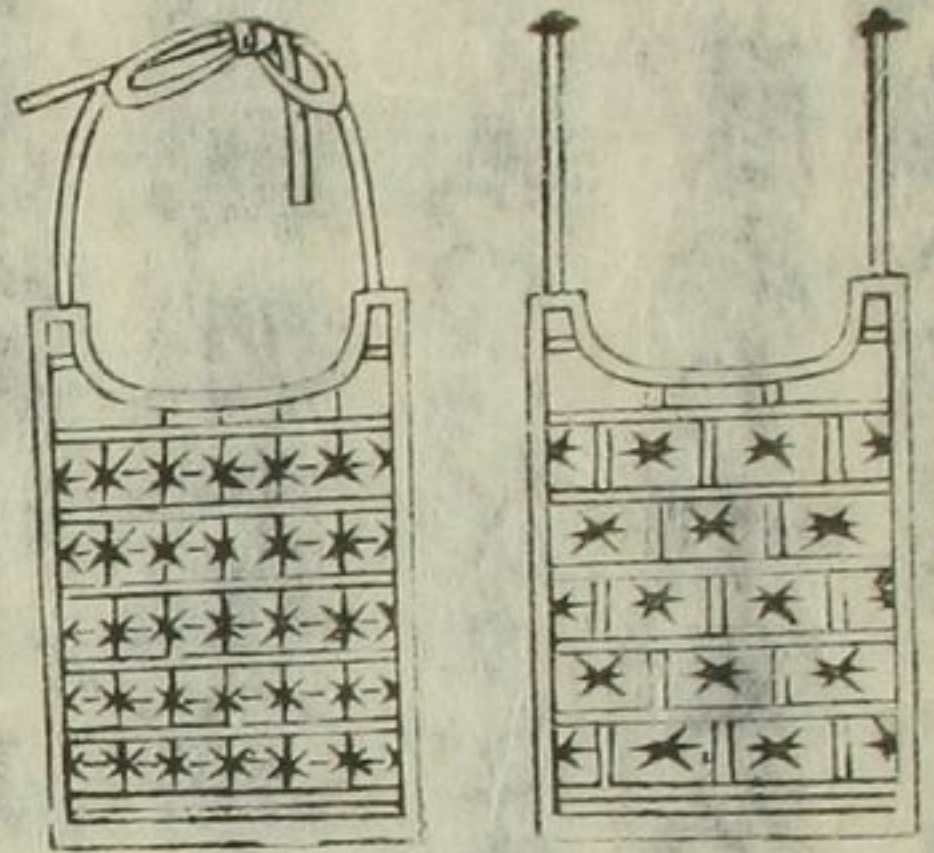
弓 小 之 圖



丸揃より小臂のくちりと
金よりあり
一弓ふゆの銀も鏢も用ひて
ゆの子金線の類といふ鏢皆云
物とりりていりよりさよひつらるるふ背のあごこり
と芥子よりふ夫いんふふふと一表と引合けて糸を結
一腰當又ハ腰揃よりふ小下姑あさよりとささくをたる
ありわしとあつけらるるを腰揃緒あり付らるるを腰引と云
腰當ハ條あり十五尺と云五尺條ハ七八九十二三同子
と云二重鏢とりりつらるるは銃具摺子ハる皮毛織ん

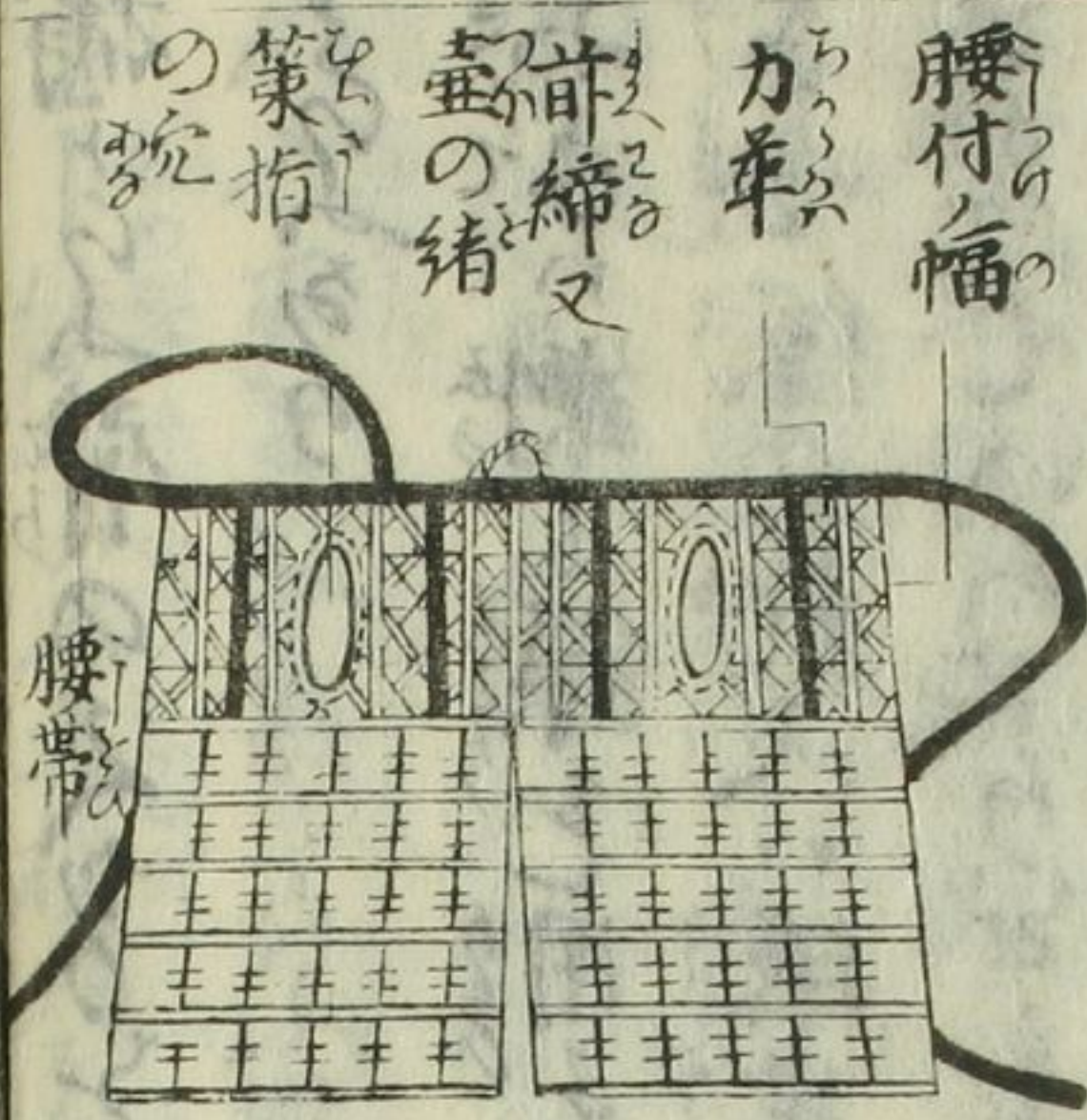
腋たもと

當あて



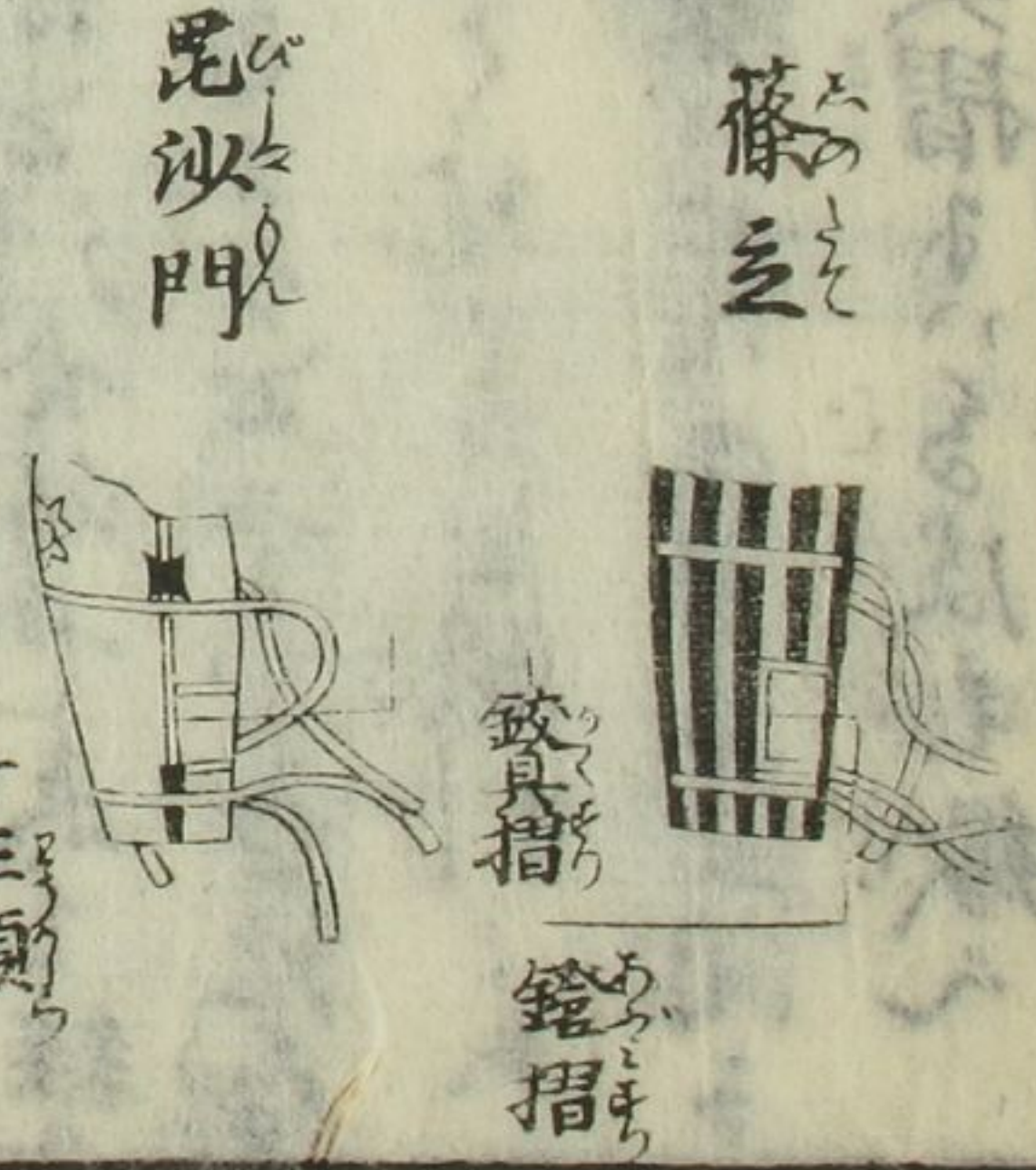
佩ひ

箱はこ



膺うら

當あて



踏ふみ

込こめ



四 具足辨方

一 大袖おほそで物の具ぐをせやりたり才さい一ひとのりうししう袴はかま

才さい二ふたのこ紀きむと才さい三さんのしうし才さい四よのく鎧よろい才さい五ごのあびらうの帯おビ才さい六むのあてあ當あて才さい七しちのあらう

一 敷しき下したのあてあ色いろをせやりうしたりもたおのての紋もん

各おのひけやさしも色いろはは足あをうくくあをやりぬきうに

間まをと狭せまくしむとうのやうへしには筆ふでのりしと

めてたらし糸いとをあらうきらへ上帯おビはは紋もんを先には合あはせて

一 御ごかがもめ役やく人ひとはかぶとをうして丸まるのあてあひらに

丸まるのあてあひらにあらうりの肩かたにおけりもやうにりらがう紋もんの

亦も一いくくすすににああららいいままつつけけあり

一い具ぐ足そをを三さん物ぶつととああららうう符ふ膏こう袖そでととああららううとと三さん物ぶつ

ののああららううにに袖そでととけけ膏こうととののああららううににびびねね緒おとと

符ふととああららううにに本ほんににああららううににああららううににああららうう

ててああららううににああららううににああららううににああららううににああららうう

ととああららううににああららううににああららううににああららううににああららうう

ああららううににああららううににああららううににああららううににああららうう

ああららううににああららううににああららううににああららううににああららうう

ああららううににああららううににああららううににああららううににああららうう

